

御神火に無病息災、家内安全を祈願

民俗行事「どんと祭」

しめ縄や門松などを燃やして、正月に迎えた神々を送り出す伝統行事「どんと祭」が、1月15日、綴子の道の駅「ぶっさん館」前の駐車場で行われ、正月飾りを持参した市民らが無病息災や家内安全を祈願しました。

「どんと祭り」は「どんど（ん）焼き」などとも呼ばれ、平安時代に中国から日本に伝わった行事で、正月が明けた1月の13日から15日ごろに、お正月のしめ飾りや破魔矢、お供えもの、前の年のお札や熊手などの縁起物を焼く民俗行事。

神事の後、『お焚き上げ』の火が入れられると、見守る住民らはそれぞれ思いで燃え上がる御神火に手を合わせていました。



市民らが持ち寄った正月飾りなどを焚き上げ、無病息災、家内安全などを祈願した「どんと祭」

力を合わせ住みよいまちづくりを

第13回新春婦人のつどい

第13回新春婦人のつどいが1月21日、森吉コミュニティセンターで行われ会員らが交流を深めました。

はじめに北林カツ婦人会長が「今年は国体が開催され、婦人会から約50人がボランティアとして参加する。選手たちを温かく迎えましょう。また、みんなで力を合わせ住みよいまちづくりに協力したい」とあいさつ。

引き続き、元秋田県生涯学習センター所長補佐の坂谷壽雄氏の「きらめけいのち、あなたの心に赤とんぼはいますか？」の講話を運動を交えながら聞き入りました。

午後からは、五味堀婦人会による郷土芸能「五味堀餅つき踊り」や有志による歌と踊りなどで有意義な一日を過ごしました。



坂谷氏の講話を聞き入る婦人会員



菅笠にけら姿という昔ながらのスタイルでセレモニーを行った「雪中田植え」

田の神に五穀豊饒を祈願

民俗行事「雪中田植え」

稲作の豊凶を占う小正月行事「雪中田植え」が、1月15日、綴子・大太鼓の館前で行われ、JAなどの関係者約50人が田の神にお神酒を供え、豊作を祈願しました。

雪中田植えは、農家が一年の仕事始めの儀式として水田に見立てた雪の上に、稲わらや豆がらを混ぜた「苗」を植え、一年の作柄を占う民俗行事。

大太鼓の館入り口前に特設された雪田に青年部長の九島敏昭さんが、けら、菅笠姿の昔ながらの装いで30cm間隔で4条に4株ずつ計16束の「苗」を植え付け、大根の煮しめやナマス、デンプ、お神酒を供え、大豊作と米価の上昇などを祈願しました。



12年ぶり2回目の女子総合優勝を果たした阿仁中スキー部
(後列右から高堰美里さん、吉田さゆりさん、畑山愛里沙さん、前列右から伊藤真菜さん、松橋郁香さん)

12年ぶりの女子総合優勝

第50回全県中学校スキー大会

第50回全県中学校スキー大会ノルディック競技が1月12日から3日間、鹿角市花輪スキー場で行なわれ、熱戦がくり広げられました。

この大会で特に阿仁中女子ノルディックスキー部の活躍が目立ち、個人戦では、3年生の高堰美里さんが女子3kmフリーとクラシカルで初優勝し2冠を達成。女子リレーでも初優勝に輝き、団体戦では12年ぶり2回目の女子総合優勝を飾りました。

選手たちは東北大会に向けて大きな目標をかかげ、キャプテンの高堰美里さんは「1人が勝負出来る大会にしたい。リレーでは東北一を目指して頑張ります」と抱負を述べていました。

園児とふれあい、お茶会を楽しむ

合川こぶぎ大学趣味講座

合川こぶぎ大学の趣味講座「新春のお茶会」が1月12日、合川農村環境改善センターで行われ、学生約40人が新春のお茶会を楽しみました。

講座で講師を務めた安部綱江さんが、お茶の作法や歴史などを講話。「お茶は、味わうだけでなく、茶碗を目で楽しみ、場の雰囲気を感じ、周りを気遣うことも大切」と話し、受講生は熱心に聞き入っていました。

お茶会では、あいかわ保育園の園児がお茶を受講生に運びました。

お茶を楽しんだ受講生は「春の香りと、今年の天気のように、子どもたちの温かさが感じられた思い出に残るお茶会でした」と感想を述べていました。



園児のお運びに目を細める、こぶぎ大学の学生

悲惨な事故ゼロに向け

交通安全祈願式と査閲式

平成19年北秋田地区交通指導隊連合会の「交通安全祈願式と査閲式」が1月13日、阿仁山村開発センターで行われ、北秋田市と上小阿仁村の指導隊員、北秋田署員など関係者約40人が出席しました。

交通安全祈願式では1年間の無事故と事故防止を祈願し、査閲式では市長等から服装点検と激励を受け士気を高めました。

長岐兼雄会長は「交通指導隊は命の尊さと交通事故の重大性を深く認識し、本年も悲惨な交通事故による犠牲者を1人でも少なくするために活動に誇りを持って事故防止に努める」と決意表明し、事故防止への誓いを新たにしました。



市長の査閲を受ける指導隊員